

岩手県重症心身障害児（者）を守る会

第106号 H30.4.15発行

TSK

会報 愛の手

編集・発行 岩手県重症心身障害児（者）を守る会  
〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内  
☎019-601-2255 FAX 019-601-2255（共有）  
E-mail mamoru2255@gmail.com  
発行責任者 齊藤 勉



守る会の  
三原則

- 1.決して争ってはいけない 争いの中に弱いものの生きる道はない
- 1.親個人がいかなる主義主張があっても重症児運動に参加するものは党派を超えること
- 1.最も弱いものをひとりももれなく守る

## 新年度を迎え日々の活動に思う

岩手県重症心身障害児（者）を守る会  
会長 齊藤 勉



厳しかった冬も終わり、4月に入り花便りが各地から届く時期となりました。会員の皆様におかれましては、ご健勝にて新年度をお迎えのことと存じます。日頃より守る会の活動、運営等につきまして、特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

また、東日本大震災の発生から7年が経過し、当時生まれた子どもがもう小学校に入学となり、年月の過ぎゆく早さばかりが感じられます。被災された皆様に改めてお見舞い申し上げ、一日も早い復興を心より、お祈り致します。

さて、この度守る会岩手県支部として長年に渡り要望しておりました事が実現できました。先般国立病院機構盛岡病院が来年度4月をめどに18歳以上の重症心身障がい者の療養介護施設として短期入所を含め、40床を確保し実施すると表明されました。これまで守る会盛岡圏域分会が盛岡市内に療養介護施設の開設を幾度に渡って要望し続けてきたことが実現し、在宅で医療的ケアが必要な重症児者等の療養介護施設として、県立療育センターと、国立盛岡病院での18歳以上の重症心身障がい者の受け入れが可能になりました。この要望の実現にこぎ着けることができたのも、昨年7月に岩手県療育を考える会と一緒に県に対して要望書を提出してから、その後、県当局が病院及び病院機構との協議を重ねて頂いた結果実現できました。心より感謝申し上げたいと思います。これも、日々の活動を継続できた事による成果ではないかと思っております。

今年度は、来年度開設に向けて施設の充実等具体的な内容について、病院側との協議を進め、在宅療養介護をされている家族にとって、盛岡病院が地域医療の中核となるよう働きかけて行きたいと考えております。

一方、重症心身障がい児者を取り巻く情勢は厳しく多様な課題があります。これらの課題の克服に向け、守る会と致しましては、今後も引き続き地域における重症児者等の環境改善に向け、地域社会から共感を得るよう活動をしていく必要があります。今年度も会員及び関係機関の皆様からのご理解とご協力を頂きながら、関係機関との一層の連携を図りながら、障がい児者等の幸せのための支援活動をして参りたいと思います。

## 平成30年度定時総会ご案内

期 時：平成30年5月13日（日） 10時30分から

場 所：ふれあいランド岩手 ふれあいホール

会員及び関係機関の方は、同封のハガキに必要事項を記入の上、必ず提出してください。

提出期限：5月1日（火）必着

## 地域福祉活動事業研修会

5月13日（日）午後1時から

場 所：ふれあいランド岩手 ふれあいホール

演 題 『みんなで考えよう』

昨年度に続き、日頃感じている事、どんなことでも自由に話し合い、その中から課題を探り、今後の守る会活動の参考とする。

☆参加希望者は、同封のハガキで申し込みをして下さい。

不明な点は、守る会事務局まで問い合わせください。

## 岩手の療育を考える会総会

5月13日（日）地域福祉活動事業研修会終了後、同会場にて開催。

研修会終了後、ご参加ください。

## 平成29年度

「重症心身障害児・者に係る福祉の充実に関する要望書」に対し、  
岩手県からの回答

要望内容	回 答
<b>1 在宅で暮らすための必要な支援について</b>	
<p>(1)短期入所拡充のお願い</p> <p>「在宅超重症児（者）等短期入所受入体制支援事業」の制度を各市町村へ引き続き周知のうえ、事業の推進を図ってください。</p>	<p>県の「在宅超重症児（者）等短期入所受入体制支援事業」は、平成29年10月1日から開始しており、県内市町村においても順次、事業実施に向け取り組んでいるところです。また、超重症児（者）等の新規受入れに向けた体制整備に取り組んでいる事業所に対しても、必要な調整を実施しています。</p> <p>今後も、引き続き、短期入所サービスの実施主体である市町村や、超重症児（者）等の受入れを行っていない短期入所事業所等に対し、事業の実施を働きかけ、事業を推進していきます。</p> <p>《参考》</p> <p>1 市町村の事業実施状況</p> <p>(1) 実施済：6市町村</p> <p>(2) 実施予定：18市町村</p> <p>(3) 検討中：9市町村</p> <p>2 事業所の受入体制整備状況</p> <p>(1) 新規受入：1箇所（検討中） （医療法人勝久会・地ノ森クリニック）</p> <p>(2) 既存事業所の拡充：5箇所</p>
<p>(2)県立療育センター内の生活介護「かがやき」の定員15名での受け入れのお願い</p> <p>未だに、15名の定員での受け入れが叶っておりません。待機者がいる中、早急に要因を再度調査していただき、平成30年度に受け入れ可能な体制を整えてください。定員での受け入れの実現を切に望みます。</p>	<p>同事業所においては、看護師が不足する中で、利用者の身体機能の変化など従前に比べてより濃密な医療を必要とする利用者が増えていることから、細やかな観察の必要性や安全管理上の面から、現在の受入状況となっているものと認識しています。</p> <p>療育センターにおいては、時間雇用看護師の採用も含め、人材確保に努めているところですが、県としても、平成30年1月に移転する新療育センターにおいて定員での受け入れが可能となるよう、人員体制の整備等を支援していきます。</p> <p>《参考》</p> <p>■「かがやき」の受入れ状況について</p> <p>・平成29年12月1日時点において、1日当たり13～14名の受入れとなっている。</p> <p>■療育センターにおける人員体制の状況について</p> <p>・平成29年12月1日時点において、看護師定数5名に対し、現員4名となっており、1名の欠員が生じている状況。</p> <p>・療育センターにおいては時間雇用看護師の採用を含め、人員体制確保に努めているところ。</p> <p>・上記の他、生活支援員は定数（8名）とおりの配置ができている状況。</p> <p>【29.12.20 療育センター事務局川村次長確認】</p>

要望内容	回 答
<p><b>(3)医療的ケアを必要とする者の生活介護の加算のお願い</b></p> <p>医療ケアを必要としている方々が安心して通所できる環境を整えるために、生活介護事業所に対し、「在宅超重症児者等短期入所受入体制支援事業」と同様の支援事業の創設を検討してください。</p>	<p>現在国において、平成30年度障害福祉サービス等報酬改定に向け、生活介護における加算の必要性等について検討が進められており、県としては、国の動向を注視しているところです。</p> <p>なお、県では、今後、医療関係者や家族会等で構成する「岩手県重症心身障がい児・者支援推進会議」を拡充し、医療的なケアを必要とする方々への具体的な支援策等の検討を進めていきます。</p>
<b>2 人材育成について</b>	
<p>「重症心身障がい・発達障がい支援者育成研修会」を開催していただき感謝いたします。引き続き研修を行っていただくと共に、受講した方達がより実践的なノウハウを身に付けられるよう、受講者にフォローアップ研修やステップアップコースの開講の機会をお願い致します。</p> <p>また、遠方の方も受けられるよう各地域での研修を実施して頂きたい。</p>	<p>県では、各地域において、支援者の育成を図るため、平成27年度から圏域ごとに、「重症心身障がい・発達障がい支援者育成研修」を実施してきており、今年度をもって、全9圏域の研修を完了するところです。</p> <p>しかしながら、人材育成に向けた取組みは今後も必要と考えており、平成30年度以降も、フォローアップを含めた支援者育成のための研修等の実施を検討しているところです。</p>
<b>3 身近な地域でリハビリを受けられる施設がない</b>	
<p>現在、リハビリのため、沿岸、県北方面から県立療育センターまで通っている現状です。しかし、18歳を超えると療育センターの利用予約が増々困難な状態となります。</p> <p>地域の整形外科、リハビリ施設や訪問リハビリ事業所などの整備に対してのお力添えをお願いします。</p> <p>また、地域の県立病院でもリハビリが受けられるように配慮いただきたい</p>	<p>リハビリ等を含めた医療的ケアが必要な方々への支援体制の整備等については、医療関係者や家族会等で構成する「岩手県重症心身障がい児・者支援推進会議」に、訪問看護部門をはじめとした保健、保育、教育などの関係者を加えて連携体制を整備し、国や他都道府県の動向を踏まえながら、検討を進めていきます。</p>

# 会員一人一人の数年来に亘る切実な声が 県と国立病院機構に届きました

岩 手 日 報

2018年(平成30年)3月1日(木曜日)

(第3種郵便物認可)

18歳以上「重症心身障害者」

## 盛岡病院が入所対応

### 来年めど 施設新設40床確保

盛岡市青山の国立病院機構盛岡病院(菊池喜博院長)は2019年4月をめどに重度の肢体不自由と知的障害が重複する18歳以上の

確保により、現在県内に約50人いる入所待機者問題の解消が前進。空きベッドは短期入所に活用する。

「重症心身障害者」の療養介護施設を院内に新設し、短期入所利用も含め40床を確保する。受け入れ先が不足し、自宅待機が増えている重症心身障害者に対応する取り組みで、県や県重症心身障害者見(者)を守る会(斉藤勉会長)などの要望を受け実施に踏み切る。

同病院の曾我理事務部長は「盛岡圏域に療養介護施設が足りないという問題は認識していた。当院が受け皿となることで、地域医療に貢献したい」と話す。

盛岡病院は県や岩手医大と連携して医師や医療スタッフの確保を進め、休眠状態にあった空き病棟の改修も同時並行で行う。40床の

4月時点の県内の重症心身障害者は588人で、うち3分の2が18歳以上。盛岡圏域に43%が集中する。もりおかこども病院の米沢俊一院長が実施したアンケート調査では、在宅介護する家族の8割以上が施設入所を希望し、同会と県の療育

を考える会(伊東宗行会長)は昨年7月、県に対して盛岡圏域に療養介護施設の新設を求める要望書を提出。成人科と小児科がある盛岡病院が役割を果たすよう要望していた。

県障がい保健福祉課の佐々木和哉こころの支援・療育担当課長は「盛岡病院の協力で待機者解消に向けて一歩前進する。連携し、県としても必要な支援に取り組みたい」と語る。

療養介護施設増設を要望し続けてきた斉藤会長は「素晴らしいニュースだ。介護する家族の高齢化が進み、将来への不安を抱える人も多い現状にあつて受け入れ先の増加は本当にありがたい」と感謝する。

県障がい保健福祉課の佐々木和哉こころの支援・療育担当課長は「盛岡病院の協力で待機者解消に向けて一歩前進する。連携し、県としても必要な支援に取り組みたい」と語る。

療養介護施設増設を要望し続けてきた斉藤会長は「素晴らしいニュースだ。介護する家族の高齢化が進み、将来への不安を抱える人も多い現状にあつて受け入れ先の増加は本当にありがたい」と感謝する。

県障がい保健福祉課の佐々木和哉こころの支援・療育担当課長は「盛岡病院の協力で待機者解消に向けて一歩前進する。連携し、県としても必要な支援に取り組みたい」と語る。

この会報は助岩手福祉基金の助成により作成しております

## 第55回重症心身障害児（者）を守る全国大会（案内）

と き 平成30年6月30日（土）13:00～7月1日（日）12:00

ところ シェラトンホテル大阪 大阪市天王寺区上本町6-1-55

電話：06-6773-1111

内 容 第1日目 行政説明  
 分科会 第1分科会 国立施設部会  
 「これからの入所支援の在り方」  
 第2分科会 重症児施設部会  
 「これからの入所支援の在り方」  
 第3分科会 在宅部会  
 「地域における支援体制の確立」  
 懇親会  
 第2日目 みんなで語ろう  
 式典

☆詳細につきましては、各施設の会長及び支部事務局まで問い合わせください。  
 是非、沢山の参加をお待ちしております。

## 平成30年度主な事業・活動予定

### ◆ 第22回重症心身障害児（者）を守る東北ブロック大会・研修会

2018年 山形大会

実施日：平成30年9月1日（土）～2日（日）

会 場：山形県上山市 かみのやま温泉 「仙溪園 月岡ホテル」

☆後日、ご案内いたします。

### ◆ 地域福祉活動事業（保護者等研修会）

第1回…平成30年5月13日（日）午後1時から

場所：ふれあいランド岩手 ふれあいホール

第2回…岩手県県央地区（花巻市・北上市周辺の予定）

第3回…岩手県県南地区（奥州市・一関市周辺の予定）

☆詳細につきましては、その都度地区の役員にご協力いただき、ご案内いたしますので、会員以外の方、各事業所の職員、支援学校、行政の方等々、沢山の参加をお待ちしております。

### ◆ 会報《愛の手》発行

106号（H30.4.15） 107号（H30.7.15）

108号（H30.10.15） 108号（H31.2.15）

### ◆ 行政等への要望（県、各市町村等）

一人一人の小さな声が、会員皆様の大きな声になります。

皆様からの声をお待ちしております。

平成 29 年度賛助会員、ご寄付をいただいた方をご紹介します。

平成 30 年度におきましても、宜しくお願い致します。(順不同にて掲載させていただきます)

## 賛助会員

盛岡市 村井 研一郎 様	盛岡市 伊東 宗行 様
盛岡市 財団医療法人智徳会 智田文徳 様	盛岡市 細田 重憲 様
盛岡市 木村 純子 様	奥州市 藤原 優子 様
盛岡市 (株)IBC岩手放送 様	一関市 遠藤 棟子 様
盛岡市 (株)ベルジョイス 様	宮古市 木村 守男 様
盛岡市 野いちごの会 様	一関市 松野 貴美子 様
盛岡市 福井 誠司 様	矢巾町 沼田 明子 様
盛岡市 小野寺 けい子 様	奥州市 (有)オックス画房 様
盛岡市 (株)ハピティ 佐藤 美智子 様	奥州市 はっぴいウイング 様
盛岡市 訪問介護事業所ぱんだ 様	紫波町 紫波さおり 様
盛岡市 医療法人日新堂 八角有紀 様	大船渡市 淵上 壽朗 様
宮古市 宮古山口病院 様	

## 寄 付

奥州市 後藤 逸男 様	奥州市 後藤 文子 様
奥州市 千田 恵美子 様	盛岡市 田村 輝雄 様
軽米町 身体障がい者協議会 様	盛岡市 盛岡ゾンタクラブ 様
国立病院機構岩手病院岩手あすなろの会 様	
国立病院機構釜石病院しゃくなげ愛育園の会 様	

## お願い

会員の住所・会員変更等が生じたなら、必ず事務局にお知らせください。本部や支部からの郵便物が届かず、郵便物が戻ってきます。宜しくお願いいたします。



長かった冬もやっと通り過ぎ、春が来たと思った途端、岩手でも各地で桜便りが聞かれ初め、例年より早いお花見シーズンになりますね。籠りがちだった精神、身体を奮い立たせ、時季を逃さず、素敵なお花見を楽しんでください。

昨年度は、国立盛岡病院の件など、会員皆の力が結集し要望を勝ち取った年度でした。

『やればできる』のモットーで今年度も一致団結のもと、宜しくお願い致します。

Y・F 記